

探してみよう！野鳥の羽



Q 羽はどこに落ちているの？

A 野鳥がいるところならどこにでも落ちている可能性があります。草むらよりも落ち葉や土の上のほうが探しやすいでしょう。おすすめのポイントは、ねぐらになっている木の下や水場など、野鳥が頻繁に利用する場所です。また、オオタカなどの猛禽類は樹林内の倒木上で獲物の羽をむしるため、その痕跡として多数の羽が散らばっていることもあります。

Q 羽を拾う時の注意点は？

A 軍手や手袋を着用し、なるべく素手で直接触れないようにします。羽が複数落ちている場合、必要な分だけを拾い、残りの羽は置いてきましょう。拾いすぎると整理や保管が大変ですし、羽を食べる生物や、羽毛を巣材として使う小鳥がいることも忘れてはなりません。

Q 拾った羽はどうするの？

A 変形しないよう、チャック付きポリ袋などに入れて持ち帰りましょう。持ち帰った羽は、水洗いまたは水を張った洗面器にシャンプーを入れて汚れを落とします。その後、羽を乾かしながら整えましょう。羽を拾った場所や日時が後からわかるよう、忘れずにラベルを書きます。その後はクリアファイルや透明の袋に入れるか、台紙に貼り付けて保管しましょう。

Q 羽の落とし主が知りたい！

A 拾った羽の色や形などをよく観察し、サイズも測っておきます。野鳥の羽の図鑑がいくつか出版されているので、それらを参考にして落とし主の正体を調べてみましょう。1枚の羽から想像を膨らませ、あれこれと推理する時間も羽拾いの醍醐味ですよ！



アオバト



イカル



カケス



巣材の羽毛を集めるエナガ



オオタカの食痕



カワセミ(翼)



コガモ



メジロ



フクロウ



ヤマガラ